

上尾市水道事業では、大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

また、令和6年度より、緊急時における現場対応力の底上げを図るため、「実動班」の訓練対象を水道事業全職員とし、新任実動班員に向けた講習会を実施することで、より多くの職員が対応できる体制づくりを行っております。

今回の活動報告では、令和6年10月、11月に行った訓練内容について報告いたします。

新任実動班員を対象とした管洗浄（実技）基礎編の実施

令和6年10月3日（木）、10月10日（木）、10月31日（木）、11月7日（木）**新任実動班員を対象とした管洗浄（実技）訓練**を実施しました。仕切弁、消火栓、洗浄弁の基本的な操作方法を学ぶとともに災害時を想定した復旧方法などを実際の施設を使用し訓練を行いました。

他にも10月24日（木）木栓による漏水応急修繕（実技）、11月11日（月）管洗浄座学（指揮養成課程）、11月21日（木）管洗浄座学を実施しました。

災害箇所の近くで水を汲んで応急給水拠点に素早く運びます

給水車



消火栓は、災害時に給水拠点として重要な役割を果たします。そのため、基本的な操作方法を習得し、いざという時に確実に使用できるよう訓練を実施しています



消火栓操作を学ぶ

新任実動班員を対象とした管洗浄（実技）基礎編の実施

仕切弁や洗浄弁の操作は、災害時や復旧時に重要な役割を果たしますが、操作を誤ると二次災害を引き起こす可能性があります。そのため、基本操作を確実に習得し、状況に応じて適切な操作を行う必要があります。



水道管の洗浄を行い
きれいな水になった

災害時には水道管が破損して水道
水が汚れてしまうことも・・・。

水道管の洗浄を素早く行い、きれ
いな水道水にします



仕切弁・洗浄弁操作を学ぶ

災害復旧に向けた実践的な訓練を重ねています。指揮者の指示に従い、仕切弁や洗浄弁を操作することで、水道管の迅速な復旧を目指します。



指揮するって、
かなり難しい



指揮者

復旧作業の確認



災害時に素早く復旧できるよう
実践的な想定訓練を実施。

指揮者によるミーティングから
始まり迅速に復旧作業開始！！

実践的な訓練

新任実動班員を対象とした管洗浄（実技）基礎編の実施

仕切弁操作では、**水量の微調整**が重要となります。開栓器を用いて水の流れる音を聴き分け、音の違いから水量を調整します。仕切弁の大きさや材質によって音の特性は異なり、熟練した技術者の経験が活かされます。



水量の調整

訓練の最後は必ず反省会を行い、技術顧問からは時に厳しい意見もいただきます。それでも、**いざという時に何をすべきかを即座に考え行動できる組織作り**は、着実に形になりつつあります。



反省会